

企画展

2024

2025

12 | 14 (土) → 4 | 20 (日)

※休館日：12月29日(日)～31日(火)

Dec.14, 2024 (sat) - Apr.20, 2025 (sun) * Closed Dec.29 ~ 31

会場 / 広島城天守閣 第四層企画展示室

開館時間 / 12月～2月 9:00～17:00

3月～4月 9:00～18:00

※入館は閉館の30分前まで

Hours / Dec.-Feb. 9:00_17:00 (Last admission at 16:30)

Mar.-Apr. 9:00_18:00 (Last admission at 17:30)

観覧料 / 大人 = 370円 (280円)

シニア / 高校生相当 = 180円 (100円)

中学生以下無料

※ ()内は30人以上の団体料金

※シニアは65歳以上 (年齢を確認できる証明書をご提示ください)

Admission Fee : Adult ¥370

Senior (Age 65 and Over) · High School Student ¥180

Special Exhibition

Life of Hiroshima Castle Town

くらし し 拝見

広島城下の

わしらの生活を

見に来んさいや

展示ガイド

展示の見どころを学芸員が解説します!

日時 / 毎週日曜日 = ①11:00 ~ ②14:00 ~ (各回15分程度)

会場 / 第四層企画展示室

「広島城下絵屏風(広島城蔵)」に描かれている城下のみなさん

公益財団法人 広島市文化財団



Hiroshima Castle

〒730-0011 広島市中区基町21-1 TEL.082-221-7512 FAX.082-221-7519

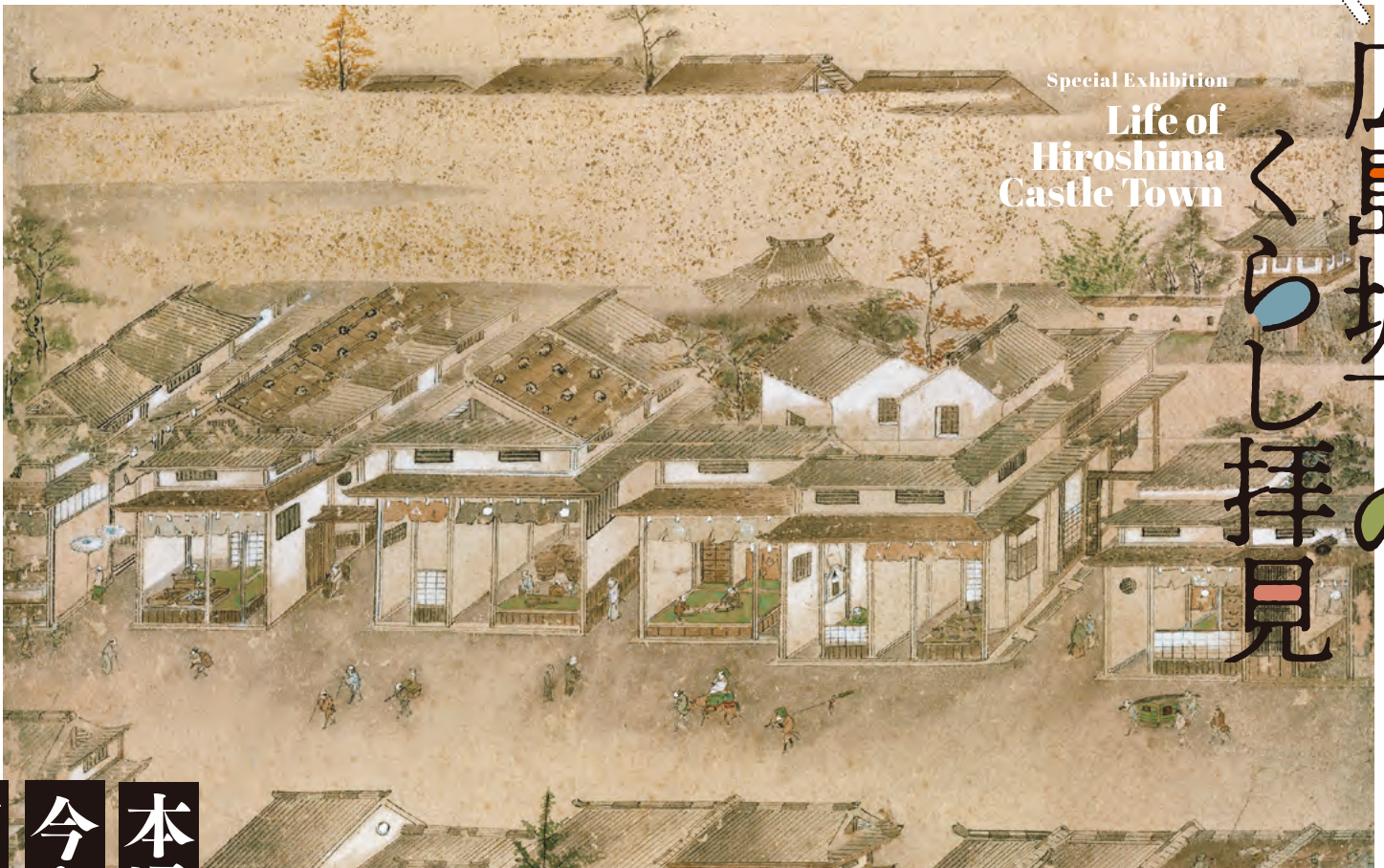
<https://www.rijo-castle.jp>



広島城下の

くらし拝見

Special Exhibition
Life of
Hiroshima
Castle Town



「広島城下絵屏風」より 江戸時代の幹線道路西国街道の様子（現在の本通商店街） 広島城蔵

広島築城が始まったのは天正17年(1589)のこと。これと同時に城を中心に城下町も建設されました。以降、毛利輝元、福島正則、そして浅野家が広島城主を務めるなか、広島城下町は西日本随一の賑やかさを誇るまでに成長し、現在の広島市の発展の基礎となっています。

本企画展では、その城下に住んでいた町人たちがどのような生活をしていたのかを探るものです。被爆のため、その生活ぶりが分かる資料は少ないですが、できるかぎり掘り起こしてみました。江戸時代の人々の生活を通して、広島市の歴史に関心を持っていただければ幸いです。

本通は 今も昔も 商店街



「芸州広島図」より 猫屋橋（現在の本川橋）西詰に停泊する海船 広島城蔵

輸送の 主力は船！



口紅のうつわ「紅猪口」大坂で製造されたものです
公益財団法人広島市文化財団文化財課蔵・写真提供

リップは 化粧の華



子どものお墓に埋納されていた「おままご道具」
公益財団法人広島市文化財団文化財課写真提供

最後の 親心でしょうか…

◎広島城へのアクセス

市内電車	紙屋町東・西電停から北へ 徒歩約15分
アストラムライン	県庁前駅・城北駅から 徒歩約12分
JR	新白鳥駅から 徒歩約17分
バス	合同庁舎前バス停から 徒歩約8分 広島バスセンターから 徒歩約12分
観光ループバスめいぶる〜ぶ (オレンジルート or レモンルート)	広島城（護国神社前）バス停から 徒歩約6分
自家用車 (広島市中央駐車場をご利用の場合)	山陽自動車道広島ICから 約20分 広島市中央駐車場から 徒歩約8分 ※広島城に駐車場はありません。

